

小学校入学1年前のお子さんをお持ちの保護者の方へ

麻しん、風しん予防接種の第2期を受けましょう！

麻しん（はしか）は、小児のかかる感染症の中でもお子さんにとって負担の大きい病気です。感染力も大変強く、肺炎などの合併症をおこし重症となることもあります。

麻しん、風しん予防接種は、平成18年4月から2回接種をすることになりました。

第2期の接種対象は、小学校入学1年前（幼稚園の年長児）にお子さんとなりますので、忘れずに接種を受けましょう。

※予診票（接種券）は、予防接種協力医療機関にありますので、母子健康手帳を持ってお出かけください。予約が必要な場合がありますので、事前に医療機関に御連絡ください。

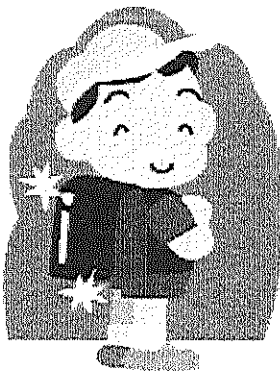
麻しん、風しん 第2期接種について

接種対象年齢

5～7歳未満で、小学校入学1年前の4月1日～入学する年の3月31日まで

ワクチン

麻しん風しん混合(MR)ワクチンを接種



麻しん、風しんのどちらかにかかった場合は、かかっていない方の単独ワクチンを接種します。

また、かかったことのない方でも、特に単独ワクチンを希望する場合は、麻しん、風しん単独ワクチンの接種もできます。

※平成20年4月から麻しん、風しんどちらかにかかった方でも、MRワクチンを接種できるようになりました。

お問い合わせ先や詳細については、横浜市健康福祉局ホームページをご覧ください。

予防接種全般 <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/yobousessyu/yobousessyu.html>

平成21年3月31日まで！！

麻しん(はしか)の予防接種は、もうお済みですか！？

これまで麻しん(はしか)の予防接種を受けてなく、麻しんにかかったこともない方への無料の予防接種を行っています

現在、全国で麻しん(はしか)が流行していますが、横浜市では他の都市と比べ、麻しん患者が非常に多く、小さいお子さんも予防接種を受けていないと、麻しんにかかってしまいます。そのため、麻しん患者を増やさないために、麻しん予防接種を受けてなく、麻しんにかかったことのない方を対象に、無料の予防接種(任意接種)を実施しています。

◆ 横浜市で実施する麻しん予防接種の内容 ◆

- 【接種対象】1歳～高校3年生(18歳)で、麻しんの予防接種を1度も受けてなく、麻しんにかかったことのない方(定期予防接種の対象者を除きます)
- 【実施期間】平成21年3月31日まで
- 【使用ワクチン】麻しん風しん混合(MR)ワクチンを接種します
- 【実施場所】市内のMR予防接種協力医療機関で実施します
※接種の際は事前に医療機関に御連絡ください
- 【費用】接種費用は無料です
- 【持っていくもの】母子健康手帳、保険証など、住所・年齢が確認できるものをお持ちください

◆ 定期予防接種も忘れずに接種しましょう ◆

接種対象年齢のお子様には、忘れずに
予防接種を受けさせましょう！

※定期予防接種とは、「予防接種法」によって定められた定期の予防接種のことで、麻しん・風しんの予防接種については、右表にある接種対象年齢に相当する方は無料で接種できます。

区分	接種対象年齢(標準の接種年齢と接種回数)
【1期】 (1回目)	生後12か月～24か月未満 ※麻しん風しん混合ワクチンを1回接種 (特に希望する方は麻しん、風しん単独ワクチンを各1回接種)
【2期】 (2回目)	5歳～7歳未満で小学校入学1年前の 4月1日～入学する年の3月31日まで ※麻しん風しん混合ワクチンを1回接種 (特に希望する方は麻しん、風しん単独ワクチンを各1回接種)

※定期予防接種には、上記のほか3期及び4期もありますが、平成20年度から平成24年度までの5年間の期限措置です。

【お問い合わせ先】 各区福祉保健センター福祉保健課(泉区はサービス課)又は
横浜市健康福祉局健康安全課(電話:671-4190)にお問い合わせください。